

RC-101 レターコイル 取扱説明書

大井電気株式会社 Ver.1.1

本測定器を安全にお使いいただくために必ずお守り下さい

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

ご使用になる前によくお読みの上、正しくお使い下さい。

本書中のマーク説明



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- ・本商品の故障、誤動作、不具合などによって生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。
- ・本商品を分解したり改造したりする事は、絶対に行わないで下さい。

置き場所・保管上の注意



注意

本商品を次のような場所に設置、保管しますと故障・誤動作の原因となります。

- (1)直射日光の当たる所や、暖房器具のそばなど、温度の高い所に置かないで下さい。
内部温度が上がり、故障の原因となる事があります。
- (2)水、油、薬品などの液体がかかるような場所、湯気の当たる場所や加湿器のそばなどの湿度の高い場所、ほこりの多い場所に置かないで下さい。

- (3)装置本体をベンジン・シンナー・アルコールなどで絶対に拭かないで下さい。変色や変形の原因になります。
汚れがひどい時は薄めた中性洗剤を布に付けよく絞ってから拭いて、その後乾いた柔らかい布で拭き取って下さい。
表示部については中性洗剤は使用せず、乾いた柔らかい布で軽く拭くだけにして下さい。

ご使用上の注意



注意

本商品を次のような使用をしますと故障・不具合の原因となります。

- (1)インダクタ計や発振器は600Ω平衡回路の装置を使用して下さい。
- (2)MONITOR端子に使用する装置は、なるべく高インピーダンス(10kΩ以上)のものを使用して下さい。
また、発呼・着呼時は高電圧がかかりますのでご注意ください。
- (3)プッシュボタン式電話機の場合、測定のためにメータをLM, OSC, 600Ωに切り替える事により、自動的にON HOOKとなるものがあります。

〔品質保証〕

このたびは、本製品をご利用頂き、誠にありがとうございます。
本製品の無償保証期間は御納入から1年とさせていただきますが、落下による破損や規格以上の過大入力による障害等取扱方法に起因する修理につきましては、有償とさせていただきます。
修理のお問い合わせは、お求めになった販売代理店または当社営業までご連絡下さい。

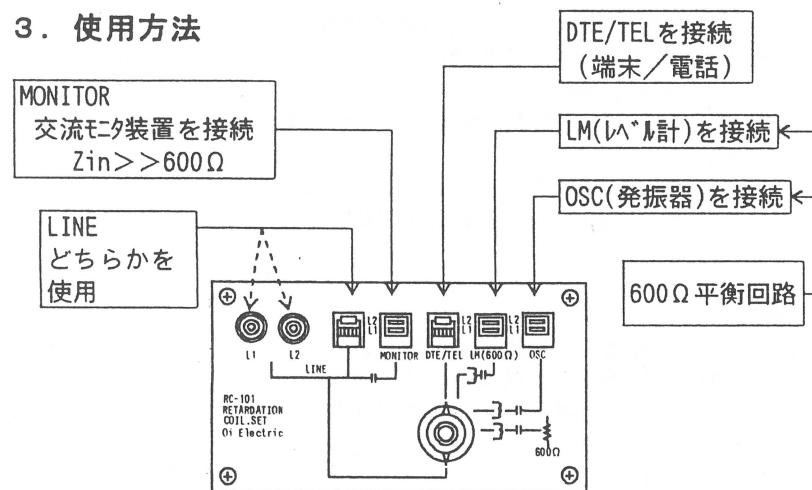
1. 概要

本器は、加入電話回線等の直流重畳回線の伝送特性を交流専用測定器を用いて測定するための装置です。

2. 規格

- ・コイル
交流インピーダンス : 10kΩ 以上(DC120mA, 300Hzにて)
直流抵抗 : 200Ω 以下
- ・コンデンサ (静電容量)
10μF+10μF(耐圧 DC200V)
- ・寸法・重量
W145×H75×D50 ±2(mm)突起物を含まず
約750g

3. 使用方法



- (1) 電話機・レベル計・発振器等の測定に必要な機器を接続し、最後に回線をライン端子に接続します。
この時レクタは必ずDTE/TEL (端末/電話) にして下さい。
- (2) 電話機により相手局との相互接続 (発呼又は着呼による) を行って下さい。
また測定中は必ずOFF-HOOK状態にしておいて下さい。

- (3) レクタを動かして測定を行います。

- ◎着信レベルの測定
レクタをLM(600Ω)にしてレベル計の指示値を読み取ります。
- ◎信号の送出
レクタをOSCにして発振器より信号を送出します。
- ◎信号状態
レクタを600ΩにするとLINEは600Ωで終端されます。
相手局側での雑音レベル測定等をされる際に使用して下さい。
- ◎その他の応用
専用線ケーブルをLM, OSCの端子に接続し、加入電話回線によりデータ通信を行う等の応用が考えられます。

- (4) ラインモニタ

MONITOR端子を使用すると電話回線の交流信号のみを取り出す事が出来ます。
また、LINEのターミナルやモジュラージャックにより電話回線をそのままモニタする事が出来ます。
この時、接続する装置は必ず10kΩ以上のインピーダンスをもっている必要があります。
また、入力不平衡回路となっている装置の場合、電話回線等に障害を与える事がありますので注意して下さい。

- (5) 測定終了

レクタをDTE/TELにして受話器を置き、ON HOOK状態にして下さい。
レクタをDTE/TEL以外にしておくとOFF HOOK状態になります。